

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和5年2月28日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回次

3日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	八代市	代表者名	中村 博生		
担当者部署	総務企画部 デジタル推進課 行革・デジタル推進係	連絡先電話番号	0965-33-4103		
担当者役職	主事	担当者氏名	垣田 斉明	連絡先E-mail	
住所	866-0898 熊本県八代市松江城町				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	牛島 清豪
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	・職員向け研修ではオープンデータの意義などの基本的な部分を説明して頂いたうえで、具体的な活用事例について職員がイメージしやすい形で紹介していただいた。また、本市の意向を反映していただき、スマートシティやオープンデータを活用したデータ連携基盤についても研修で触れて頂いた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年2月22日	講演(実地)	有	令和5年2月7日	550
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年2月21日	講演（実地）	10時30分	12時00分	
				活動時間（分）	90
3-2. 派遣場所	会場名	八代市役所 本庁舎 301会議室	最寄駅	八代駅	
	所在地	熊本県八代市松江城町1-25	最寄駅からの交通手段	バス	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	54 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	令和3年11月1日に八代市オープンデータ利用規約を策定し、オープンデータを市公式ホームページへ公開したが、データは5種類しかなく、ファイル形式や更新時期も統一されていない状況である。その為、令和4年11月に八代市オープンデータの推進に関するガイドラインを策定し、オープンデータ推進に取り組み始めたところであるが、庁内のオープンデータの認知度は低く、重要性や活用方法などが理解されていないことが課題である。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	オープンデータの庁内認知度向上、データ利活用の意識向上、日常業務における機械判読性を意識したデータ作成。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	・庁内職員向けにオープンデータの研修を講師として実施していただいた。 内容：オープンデータの意義、デジタル庁の取組、活用事例～オープンデータによる課題解決 など	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンデータに関する職員の認知度向上、活用事例、活用方法の理解度向上 ・オープンデータを公開する際のファイル形式等についての理解度向上 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別添します。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	自治体標準データセットを基に可能な限りオープンデータを公開し、定期的にデータの更新、追加を行う体制の構築。オープンデータを基に市民参加型のワークショップの実施。	

未記入のセルがあります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認ください。
 なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



